

千葉日報

2016 年（平成 28 年）6 月 5 日（日曜日）

歯と口の健康週間
6月4日～10日

■2□

お口の中で繁殖したばい菌が気管に入ることによって、特に体力の弱い高齢者には、肺炎を誘発するお口の衛生状態に気を配ることが大切です。

神大震災でも被災地の高齢者に多く発生し、およそ千人に達した震災関連死のうち肺炎が2割以上を占めたという報告もあります。

避難所生活が長くなり、どうしても飲み水が優先される生活環境では、なかなか歯磨きを十分にすることができず、お口の中が不潔になり、ばい菌が増えてこう

した肺炎が生じるようです。避難所では歯磨きやうがい

誤えん性肺炎って？



来ず反射機能が衰えることで夜間就寝している間に、お口の中のばい菌を含んだ唾液が気管に流れて肺炎になることも報告されています。

ある特別養護老人ホームで、お口のケア（歯磨き）を行ったら肺炎になる高齢者が半数近く減少したという報告もあります。

肺炎にならないために、普段から歯磨き（口腔ケア）はとても大切なことです。

明日は、高齢とともに忍び寄ってくるお口の虚弱（オーラルフレイル）についてお伝えします。

（千葉県歯科医師会）